

3年ぶりにJAなめがたしおさい波崎メロン部会が目揃会を開催

令和4年5月17日(火)、JAなめがたしおさい波崎出荷場において、初出荷を翌日18日に控えたタカミメロンの出荷目揃会が開催され、部会員10名が参加しました。目揃会はコロナ禍の影響で開催を見合わせており、3年ぶりの開催です。

普及センターが出荷直前の栽培管理について、市場関係者から今年度の産地情勢について、各々説明した後、部会員が持ち寄ったメロンを規格ごとに分け、実際に現物を見ながら出荷のポイントや外観品質を確認しました。その後、メロンをカットして糖度を計測するとともに、参加者全員で食味や果肉の硬さなどを確認しました。

今年度は低温と曇天が続き、3Lが中心だった昨年に比べるとやや小玉傾向ですが、糖度は高く、タカミメロンらしい香りのある果実に仕上がっていました。

部会長は、「波崎のメロンを買えば、おいしいメロンが食べられる、という消費者の信頼に応えるため、最後まで気を抜かず、丁寧に管理していきましょう」と部会員に呼びかけていました。

普及センターは、引き続き生産者への情報提供を行い、高品質で安全・安心な波崎のメロン生産を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（儲かる農業）

